

あま市都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントの結果について

- 意見募集の期間 令和3年12月8日から令和4年1月7日まで
- 意見を提出された方 3名
- 意見数 11件

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
1	<p>人口増加がなければ商業の新規出店は望めないし、また、産業立地についても労働者の住宅用地の供給が必要である。市民、商業、産業はまちをつくる基本であり、発展に向けて積極的に取り組むべきである。</p> <p>あま市は、名鉄津島線の甚目寺、七宝、木田と3つの駅を有しており、あま市の中でもとりわけ名鉄沿線は通勤・通学など名古屋や津島方面へのアクセスの利便性が非常に高い地区である。</p> <p>現在のあま市となつてからは市のほぼ中心に位置する名鉄沿線の優良住宅候補地である。しかし、この3駅間及びその周辺について、市街化を規制している地区が多く、この地区の優位性を有効に活用できているとは言えず非合理である。また、土地利用規制の線引きにより歪な分断も生じている。これは、七宝駅周辺が旧3町の行政界が集まり旧3町のそれぞれの中心地区から離れた地区であったことが主な要因であると考えられ、旧美和町、七宝町地域において特に顕著となっている。</p> <p>そこで、旧3町では難しかったが3町合併によって可能と</p>	<p>いただいたご意見全般にわたり、ほぼ同様の認識をもって今回の素案を作成しています。</p> <p>ただし、具体的にご提案いただいている「名鉄津島線以北、県道給父西枇杷島以南で分断のない一体的で面的な市街化を進める」ことに関しては、将来見込まれる住宅需要との整合が重要と考えています。このため、p.3-3「将来指標の設定」に示している、市の総合計画による将来人口推計を根拠として、それに見合った市街地規模を想定し、p.3-7「将来都市構造図」において「市街化検討ゾーン」の区域を設定しました。また、その範囲は、駅からの距離等を考慮して検討しています。この結果として、七宝駅と木田駅の間市街化検討ゾーンから外れる部分が生じていることにご理解をいただきたく存じます。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
	<p>なった3駅間を連携させたまちづくりへと発展させ、具体的には、まずは名鉄津島線以北、県道給父西枇杷島線以南で冨塚地区と木田地区の間を繋ぐ歪な分断のない一体的で面的な市街化（駅周辺及び幹線道路沿いは商業地、その背後を住宅地、やや広めの公園等も状況を見て整備）を進めることにより、甚目寺と木田のまちが名鉄沿線で繋がり一体感が生まれる。また、隣接する名古屋市へのアクセスの良さ、駅近という利便性を更に十分に活用し、あま市が本来持つポテンシャルを有効にきちんと活かしていけば、市民生活をより充実したものへと高めることができる。</p> <p>今、リニア中央新幹線が名古屋・品川間を令和9年の開通を目指し工事が進められおり、開通後は、あま市から東京まで電車で約1時間の距離となる。こうしたアクセスの良さをしっかりと活かす施策を遅れることなく着実に進めることが、地域住民と産業の発展のためにとっても重要である。</p>		
2	<p>第3章 全体構想（都市レベルの方針）、1 都市の将来像について</p> <p>あま市総合計画に基づいた都市計画マスタープランの具体的な都市像を示してほしい。</p> <p>あま市の将来の姿として、どういう都市にするか基本的かつ具体的な姿がどこに示されているか教えてください。</p> <p>「人・歴史・自然が綾なすセーフティー共創都市」の都市の概念に賛同します。ただ「共創」により何をどう実現させるか</p>	<p>都市計画マスタープランが目指す具体的な都市の姿はp.3-4「将来都市構造」で、個別の目標と活動計画にあたる内容はp.3-8「土地利用方針」以降で、それぞれお示ししています。なお、「共創」は総合計画に記載のとおり、“多様な主体が一緒になってまちづくりを進める”という意味であり、「共創」自体に具体的な都市像を持つものではありません。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
	<p>具体的に示して頂かないと何をどうして、どうすればよいか漠然としてよくわかりません。具体的な個別の目標と活動計画を示してください。</p>		
3	<p>2 都市づくりの目標、3 将来指標の設定について 「令和 13 (2031) 年における人口フレームを 90,000 人」の目標を実現するために、3-3 ページの■将来人口推計 (第 2 次あま市総合計画 (案)) よりあま市の人口 89,040 人が 10 年後最悪 82,794 人まで約 7,000 人減少するであろう予測に対して約 8,000 人の人口を増やす必要がありますが、どうやって実現させるのですか。</p> <p>4 将来都市構造の●都市拠点、●都市軸、●ゾーン の要素について、何をどう計画を立ててどう実現させるか具体的にそれぞれの数値目標を示してほしい。目標が曖昧だと狙いが不明確になり 8,000 人の実現が本当に達成できるのか心配になります。ご所見をください。</p> <p>現時点で数値設定がなければいつまでにどんな計画で示して頂けるか教えてください。</p>	<p>人口増加を実現するためには、都市計画分野のみならず全庁横断的な取組みが必要で、総合計画を始めとする各分野の計画に沿って施策を総合的に展開することで、本市に住み続けたい、住んでみたいと思っただけのようなまちづくりを進めます。その一環として、本プランにおいては、あま市総合計画 (R4.3 改訂予定) で目標とする人口フレーム (90,000 人) に見合った市街地規模を想定し、p.3-7「将来都市構造図」において「市街化検討ゾーン」の区域を設定し、人口定住化に向けた住宅地等の受け皿の確保を図っています。</p>	-
4	<p>5 土地利用方針の【土地利用の配置方針】⑩農地・集落地の土地利用の規制・誘導方針●集落地について “周辺農地との調和にも留意しながら、低層を基本とした良好な住環境を保全する土地利用を図ります。”とありますが、具体的に何を行うか教えてください。</p>	<p>集落地に関しては、p.3-14「集落地の住環境の保全」等において具体的な方針を示しています。</p>	-

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
5	<p>第4章 地域別構想の1 地域区分の考え方、2 東部地域の地域づくり構想、3 西部地域の地域づくり構想、4 南部地域の地域づくり構想を見る限り甚目寺地区、美和地区、七宝地区は現状からの独自の発展期待で行政はそのサポートに徹するよう見えます。</p> <p>あま市を旧3町の特性を生かしつつ、あま市を一体化した施策はないのでしょうか。</p> <p>3地区バラバラでよいのでしょうか。いまのままがベストならよいのですが評価はどのようになされたのでしょうか。教えてください。</p>	<p>旧3町（七宝町・美和町・甚目寺町）それぞれの市街地の中間的位置にある新庁舎周辺を「防災・交流拠点」と位置づけ、市域全体を安心安全と地域活力の創造を支える場とすべく施策展開を図ることとしています。</p>	-
6	<p>全体を通じて</p> <p>① マスタープラン作成に当たり、都市計画の専門家の意見があったか教えてください。なければ聞いて頂いてプランに反映して頂きたいです。</p> <p>② 防災について教えてください。防災は街づくりの1丁目1番地と聞きますが、防災体制は現状で十分か、不十分なら何を進めようとするか安全安心課と連携で都市計画マスタープランにどう盛り込むか具体的に教えてください。</p>	<p>①に関しては、「あま市都市計画マスタープラン及び緑の基本計画策定委員会」において学識経験者や愛知県職員等からご意見をいただきながら策定しています。</p> <p>※策定委員会でいただいたご意見は、市HPで公表しています。</p> <p>②に関しては、まず防災・減災に関する課題認識として、p.2-38「(2)7つの視点からみる都市づくりの課題」の中で「ソフト面及びハード面にわたる防災・減災の取組みの推進」等を掲げるなど一層の取組みが必要と考えています。また、これらに対する方針と</p>	-

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
	<p>③ 地域構想で東部地域：甚目寺地区、西部地域：美和地区にはすでに鉄道の駅が存在しています。南部地域：七宝地区のみが鉄道駅がありません。地下鉄七宝駅誘致の事務局があま市となっている「名古屋市高速度鉄道 6 号線建設促進期成同盟会」と聞きましたが何故都市計画マスタープランに入れないのですか。七宝地区の住民の 50 年越しの悲願と聞いていますがどのようなお考えか教えてください。</p>	<p>しては、p.3-18「(2)防災・減災力～安全安心の都市づくり」等において、防災担当部局とも十分に調整の上、防災関連の記述をしています。</p> <p>③に関しては、p.3-15 及び p.4-42 において「名古屋市高速度鉄道 6 号線の延伸構想を見据えた交通まちづくりを検討する」との方針を記載しています。</p>	
7	<p>■相談/通報窓口の設置</p> <p>清須市のように LINE を活用し破損道路の通報窓口や半倒壊家屋、ゴミ屋敷に関する通報窓口を開設してほしい。</p> <p>道路は普段使いしている地元の住民からの視点が補修に重要で気づきづらい危険なところに手を加えることができればより住みやすい街にできると思う。</p> <p>半倒壊家屋/ゴミ屋敷は住宅密集地に多く点在しており、先日の放火事案のようなことがあると被害が拡大する可能性がある。</p> <p>同様に住宅地の一面が森状になっており、雑草が鬱蒼としておりゴミも投棄されているが、防火上の観点からリスクが非常に高い。</p>	<p>都市計画マスタープランは都市計画に関する基本的な方針を示すもので、具体的な事業までは記載していません。</p> <p>いただいたご意見に関しては、p.3-26「①連携・協働の仕組みを活用した都市づくりの推進」において、“地域の様々な課題の解決や活性化のため、地域住民が参画できるまちづくり協議会等の仕組みづくりを推進する”等の方針を定めており、本方針に基づく具体的な事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
	<p>※安全安心の都市づくり、市民/事業者・団体/行政の協働による都市づくり</p>		
8	<p>■外来生物への対応</p> <p>テレビで話題になっている外来生物をよく見かけます。カメラやヌートリアの調査や駆除をお願いしたいです。</p> <p>ヌートリアに土手を掘られて洪水被害はやめてほしいです。実際に土手に穴が開いています。</p> <p>※安全安心の都市づくり、環境と調和した都市づくり</p>	<p>都市計画マスタープランは都市計画に関する基本的な方針を示すもので、具体的な事業までは記載していません。</p> <p>いただいたご意見に関しては、p.3-23「②-ア. 骨格的・拠点的な緑の保全・活用」において、“庄内川・新川・五条川一帯等、面的な広がりをもって都市の骨格を形成し、生物多様性等の面からも重要な役割を持つ河川緑地について、保全を図る”等の方針を定めており、本方針に基づく具体的な事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>	-
9	<p>■サイクリングロードの整備</p> <p>自転車ブームに合わせて尾張水道みちの再整備を行うと人を呼び込むことができます。</p> <p>養老方面に自転車で向かう人の為にコンビニには自転車立てを設置してのくらいなのでモデルコースとして整備すれば人寄せになるかもしれません。</p> <p>※地域の商工観光により活力を高める都市づくり</p>	<p>尾張水道みちに関しては、p.4-13 及び p.4-28 の「歩行者ネットワークの形成」に方針を定めており、本方針に基づく具体的な事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>	-

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
10	<p>■リサイクルセンター</p> <p>市役所に併設されたシルバーさん常駐のリサイクルセンターは土日も開いていてすごく助かっています。引き続き活動していただくと助かります。また、他の場所にも同様の施設があると便利かと思います。</p> <p>※環境と調和した都市づくり</p>	<p>都市計画マスタープランは都市計画に関する基本的な方針を示すもので、具体的な事業までは記載していません。</p> <p>いただいたご意見に関しては、担当部局と情報共有し、今後の具体的な事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>	-
11	<p>■道路/歩道の維持整備</p> <p>歩道と車道の隅に草が多く生えており、歩行者や自転車が本来の歩道の幅を使えていない。車からも草で視界を奪われて、小さい子供などを見落とす可能性があり、整備が必要です。定期的に草刈りを実施していただいておりますが、歩道脇の土や砂の除去をおこなっておらず、草が生えやすい状態です。排水機能を損ねており、雨が降った際には水たまりができ、子供たちが可哀想です。</p> <p>草刈りの頻度を上げるとともに、スーパーを定期的に走らせてゴミや土を取ってほしい。(128号線五条高校北側、79号あま愛西線、あま市民病院北の給父西枇杷島線、萱津橋西より北の五条川沿い、東六反地など)</p> <p>※社会資本マネジメント推進</p>	<p>都市計画マスタープランは都市計画に関する基本的な方針を示すもので、具体的な事業までは記載していません。</p> <p>いただいたご意見に関しては、担当部局と情報共有し、今後の具体的な事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>	-